

第1章 調査概要

1. 1 調査の背景

地方における若者の県外流出が課題となるなか、本県においても、2023年の20～24歳の転出超過率が男女ともに全国ワースト1位になるなど、喫緊の対応が必要な状況となっている。

若者が地方から流出する要因として、雇用環境や就職先の選択肢の少なさ等の経済的要因のほか、当センターが実施した「女性の県外流出に関する調査」※において、地方の閉鎖的な社会や古くからの慣習、しきたりに対する拒否感を示す意見が多く挙げられた。これらのことから、固定的性別役割分担意識の根強さや、無意識の思い込みによる生きづらさも、若者の県外流出の一因となることが推測される。

※「女性の県外流出に関する調査」（令和4年度青森県男女共同参画センター実施）

1. 2 調査の目的

男女共同参画の観点から、若者が活躍でき、住み続けたいと思う環境を整備するために、当事者である若者の性別役割分担意識の実態と、居住地選択の傾向等について調査し、今後の取組の参考資料とすることを目的とする。

1. 3 調査対象者

青森県内の全日制公立高等学校の2年生

1. 4 調査方法

(1) 抽出方法

サンプルの抽出は行わず、全数調査を実施（約8,800人）

(2) 回答方法

インターネット回答（Googleフォーム）

(3) 調査協力

青森県県民活躍推進課

(4) 調査期間

令和7年10月6日～令和7年10月31日

(5) アンケート票の構成

①あなたについて

②家庭生活について

③今後の居住地について

④あなたの考えについて

⑤性別による役割や偏見を押しつけられたり、そのような場面を見聞きした経験について